

てづくりパズルをつくろう！

①自然散策スタート！

まずは園内の葉っぱを拾いに行きました。リーダーからおすすめの葉っぱの特徴を聞き、袋一杯に拾うメンバーや、葉っぱを探している途中でバッタを見つけ、空っぽの袋を持ちながらあちこちへ飛び回るメンバーなど、それぞれが目の中の自然に夢中になっていました。そこで強制したり、代わりに葉っぱを渡したりしないのがくれよんの活動です。必要な時がきたら自分で気がつくかなと見守ります。



②葉っぱスタンプに挑戦！

次に、パズルとなる画用紙に絵を描いたり、葉っぱスタンプを押ししたりしながら、色鮮やかなパズルを作っていました。葉っぱスタンプコーナーはみんなで一つの机を使うので、友達のやり方を参考にしながら取り組む姿が見られ、上手にできても、できなくても「もう1回！」と何度も挑戦していました。パレットの数が人数分ないので、絵の具を付ける為に順番を待つという機会も生まれていました。



③芝生で遊ぼう！

午前中は工作に対する集中力がとても高く、じっとしている事が多かったので、昼食後に芝生で遊びました。走り回る組と虫を探す組に分かれ、短い時間でしたが、思いっきり遊びました。走り回る組は、特に遊びを決めず、ただただ笑顔で走り回り、疲れたら芝生で寝転がって、雲の流れを楽しんでいました。虫を探す組は、バッタとカエルを上手に捕まえ、みんなで観察していました。

④パズル完成！

気分転換を終え、パズル作りを再開しました。パズルのピースの形を考え、リーダーに切り分けてもらい、完成しました！早速、自分でつくったパズルに挑戦し、悩みながらも楽しく遊びました。最後は、なかなかクリアできないメンバーの所に集まり、みんなで考えながら挑戦する場面もあり、仲良くなるきっかけにもなっていました。これからも自分で楽しい事や楽しめる物を作り出していきたいね！



今月は工作に挑戦しました。様々な工程がある中で、一人一人の様子がよく表れたのは“葉っぱスタンプ”でした。葉っぱスタンプは、絵の具を付ける→紙にスタンプを押す→葉っぱを袋に捨てる→次の葉っぱを選ぶという一連の流れがあり、繰り返しながら作業を進めていきました。繰り返す事で、流れをつかみ、自分で次の行動へと移ることができていました。また、友達の動きを真似たり、分からないことを尋ねたり、まわりから刺激をもらい進める姿も見られました。これからも自分で気づきかけを沢山つくれるように、活動を展開していきたいです。 (生本 ひろみ)